

天文学

と
www.tenpla.net
プラネタリウム

vol.
163

今月のお題

.....

天文学は要衝にあり

天文学は交通の要衝にあり、周囲との相互連鎖の中で発展している、とって活動をデザインすると楽しいです。

高梨直紘（東京大学）／平松正顕（国立天文台チリ観測所）

この秋、北海道大学で行われた日本天文学会の秋季年会に参加してきました。それに合わせてお休みもいただき1日だけドライブをしてきたのですが、これまで北海道では飛行機と鉄道での移動しかしたことがなかったので、たいへん新鮮な経験でした。札幌から道央自動車道で一路北を目指し、深川から留萌へ抜けて、そこから日本海沿いに石狩経由で札幌に戻るというだけなのですが、ふだん暮らしている東京（の辺境）とはまったく違った空の広さや、地平線の遠さは、しばらくご無沙汰していた景色でした。

さて、そうやってドライブをしていて改めて気がついたこと。それは街は交通の要衝に発展する、ということです。広大な平野を運転していると、ところどころで街が現れますが、むかし地理の授業で習った通り、それらの街は主要な道路や鉄道の交わる場所にあるものがほとんどで

す。逆に言えば、地理的な要因で発展した街から周囲に交通網が広がっているとも言えるかもしれません。いずれにせよ、こういった街を足がかりに北海道の大地に人々が根を下ろしていったのかと考えれば、感慨深いものがありました。

よくよく考えれば、天文学もそのような交通の要衝にある学問と言えるかもしれません。例えば、最近はやりのアストロバイオロジーは天文学だけでなく、生命科学や化学など宇宙と生命に関わる幅広い学問領域をつなぐハブとなっています。成り立ちからしても天文学は哲学と深く関係していますし、その先にある美学や文学、思想などの人文系の諸学問とも繋がりがあります。すばる望遠鏡などの巨大望遠鏡や最近話題の重力波検出装置などは、最先端のテクノロジーがなければ成り立ちません。天文学という括りの中に、さまざまな学問領域を引きつけて語る事ができることそれ自身が、



車窓からみえた景色。左半分は雨ですが右半分は晴れています。

天文学の魅力の源泉のひとつとも言えるでしょう。

さまざまな方向に発展する諸学問への入り口として、また、それらの諸学問の成果が集まってくる交通の要衝としての価値が天文学にはあるに違いない。そのように考えれば、これまでとは違った切り口での活動をデザインできるはずです。宇宙図の制作などすでにそのような意識で行ってる活動も少なくないですが、今後も意識的に仕掛けていこう、そんな思いを新たにした北海道ドライブでした。

天文学は交通の要衝にあり、周囲との相互連鎖の中で発展している、と思って活動をデザインすると楽しいです。

高梨直紘（東京大学）／平松正顕（国立天文台チリ観測所）

この秋、北海道大学で行われた日本天文学会の秋季年會に参加してきました。それに合わせてお休みもいただき1日だけドライブをしてきたのですが、これまで北海道では飛行機と鉄道での移動しかしたことがなかったので、たいへん新鮮な経験でした。札幌から道央自動車道で一路北を目指し、深川から留萌へ抜けて、そこから日本海沿いに石狩経由で札幌に戻るといっただけなのですが、ふだん暮らしている東京（の辺境）とはまったく違った空の広さや、地平線の遠さは、しばらくで無沙汰していた景色でした。

さて、そうやってドライブをしていて改めて気がついたこと。それは街は交通の要衝に発展する、ということです。広大な平野を運転していると、ところどころで街が現れますが、むかし地理の授業で習った通り、それらの街は主要な道路や鉄道の交わる場所にあるものがほとんどで

す。逆に言えば、地理的な要因で発展した街から周囲に交通網が広がっているとも言えるかもしれません。いずれにせよ、こういった街を足がかりに北海道の大地に人々が根を下ろしていったのかと考えれば、感慨深いものがありました。

よくよく考えれば、天文学もそのような交通の要衝にある学問と言えるかもしれません。例えば、最近はやりのアストロバイオロジーは天文学だけでなく、生命科学や化学など宇宙と生命に関わる幅広い学問領域をつなぐハブとなっています。成り立ちからしても天文学は哲学と深く関係していますし、その先にある美学や文学、思想などの人文系の諸学問とも繋がりがあります。すばる望遠鏡などの巨大望遠鏡や最近話題の重力波検出装置などは、最先端のテクノロジーがなければ成り立ちません。天文学という括りの中に、さまざまな学問領域を引きつけて語る事ができることそれ自体が、



車窓からみえた景色。左半分は雨ですが右半分は晴れています。

天文学の魅力の源泉のひとつとも言えるでしょう。

さまざまな方向に発展する諸学問への入り口として、また、それらの諸学問の成果が集まってくる交通の要衝としての価値が天文学にはあるに違いない。そのように考えれば、これまでとは違った切り口での活動をデザインできるはずです。宇宙図の制作などすでにそのような意識で行ってる活動も少なくないですが、今後も意識的に仕掛けていこう、そんな思いを新たにした北海道ドライブでした。